

2025

7.30 (水)

12:10
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

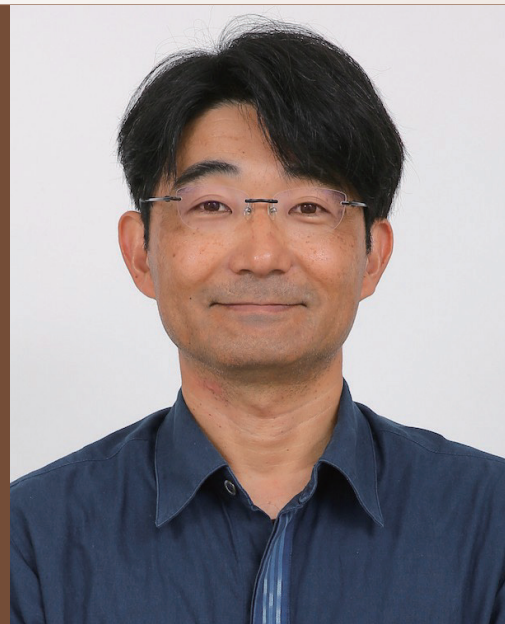
オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_1MgcUCf4TTu8VjDqyzNEA

【技術支援】九州大学 Q-AOS

生物多様性と多種共存： 研究教育拠点としての天草臨海実験所



Key Words

沿岸生態系

海洋生物

魚類

ベントス

サンゴ

生態学

生物群集

潮間帯

新垣 誠司 准教授

理学部附属天草臨海実験所

沖縄県内の高校を卒業後、海洋生物学を学ぶため九州大学理学部へ進学しました。学部4年生から博士課程まで理学部附属天草臨海実験所で研究に取り組み、2006年に潮間帯魚類の共存機構に関するテーマで博士号を取得しました。その後、九州大学大学院理学研究院、琉球大学大学院理工学研究科、水産総合研究センター（現：水産研究・教育機構）西海区水産研究所石垣支所、琉球大学熱帯生物圏研究センター瀬底実験施設での勤務を経て、2011年に九州大学大学院理学研究院に着任し、天草臨海実験所を拠点として教育研究に従事しています。専門は海洋生態学で、特に群集生態学の視点から生物多様性や多種共存について研究しています。

生物は地球上に遍在（広く分布）します。一方で、多くの生物が特定の場所や時間に集中するなど、“偏在”しており、生物群集の示すパターンは多様です。「複数の生物種がどのように共存し、群集構造を形成し、存続しているのか」という問いに答えるため、生物多様性の高い地域として知られる、アジアの温帯から熱帯域にかけての沿岸浅海域でフィールドベースの研究に取り組んでいます。本セミナーでは、その研究例と活動拠点である天草臨海実験所の紹介をします。